

●中山地区 まちづくり懇談会記録

平成24年7月21日(土)午後7時～9時 (中山公民館)

(1) 新庁舎建設について

	質問事項	答弁要旨	答弁者
①	<p>庁舎を建てる際に、場所が特定されていないと建てることできないと思うが、新庁舎基本構想には、建設場所は特定されていないのか。また、建物の大きさや形状も建設場所が決まらなると、周辺環境等の問題もあり、建物の構造も決まらなと思うが、どのように考えているのか。</p>	<p>場所の特定はまだされておりません。平成23年度に町民意識調査を行い、その中では、現在の場所、平成の森公園、インター周辺という3つの案が出ていますが、町民の意向などもあわせて検討しています。</p> <p>基本構想では、庁舎の現状も踏まえて整備方針を定め、3か所の中から建設地として比較することにとどめ、今後、基本計画を策定する中で3か所を基本に住民等の意向や建設費用等を検討したうえで決定することとなっています。</p> <p>規模については、国の基準を基に算定すると約4800㎡程度となり、それらを踏まえ、基本計画で検討していただいております。また、資金的・財政的な試算を行い算出をしていきたいと思っております。</p>	町長 政策推進課長
②	<p>庁舎をみたところ、ヒビだらけで倒壊の心配もあり、町の財政も大変だと思うが、一刻も早く建設してもらいたい。場所については、川島インターや国道254号線に近い人口密集地域でお願いしたい。</p>	<p>位置につきましては、住民の皆様からそのような意見があることを、検討委員会に報告し十分検討してもらいたいと思っております。</p>	町長
③	<p>耐震性能がダメであるので、庁舎は早く建設した方がいいと思っています。しかし、お金がありません。費用はどこから捻出するのか。</p>	<p>庁舎建設基金は、11億5千万円で今年度の基金を含めると約12億円となります。また、場所・規模により概算で計算した中で財政計画を立てますが、基金と起債による対応になると考えております。基金については、建設までの間に可能な限り基金を積み、財政的な措置をとりたいと思っております。</p> <p>また、検討委員会では、基本計画を年内にはある程度まとめていただけるようなスケジュールで実施しております。</p>	町長 政策推進課長

(2) 自主防災組織の育成支援について

④	<p>区長を中心に地域住民で組織するとあるが、町が描く自主防災組織マニュアルをつくって区長が活動できるようにしてほしい。班長や住民、区長の位置づけを具体的に示すような指標を作ってほしい。</p>	<p>現在、地域にあった自主防災組織を検討しているところです。まずは無理をしない程度で、今できる事を中心とした自主防災の組織化を考えております。自主防災組織の育成には、スタンダードな基準があると思いますが、始めからすべてを網羅するのは難しいと思います。先日の代表区長会議で自主防災組織の活動指針を示させていただきましたが、9月に向けて各地区の区長さんにマニュアルに近いものをお示しさせていただきます。</p> <p>また、最初から完璧なものにするのは難しいと思いますので、設立の際には、担当から説明等に伺いますので相談をしていただければと思います。</p>	総務課長
---	---	--	------

⑤	地域内の転出入者が区長には一切分からないので、そのような方を管理してほしいと言われても無理があります。3か月に1回なり、担当地域の住民の出入りを知らせてもらえないか。	現在の状況は、川島町に転入された方には、地域の区長さんをお知らせし、自治会に加入していただくよう案内しております。以前は、転出する際に区長さんに通知しておりましたが、平成14年の個人情報保護条例の制定以降、転出入の通知を区長さんへお送りしておりません。災害時には、区長さんがすべての地域の住民のことを知る必要があると思いますが、個人情報の取り扱いもありますので、町の個人情報保護審議会にも諮り、転入出のお知らせも検討していきたいと思っております。	総務課長
⑥	個人情報には確かに大事ですが、団体のリーダーを決める際に、その家には何歳くらいの人がいるのかなどが分からないので、最低限の情報を町から教えていただきたい。	町でも防災カードの取り扱い等について、班長さんに情報を伝えるのは当然であると考えております。しかし、さらに個別にどの世帯に何歳の人がいるなどの情報となると別になってきますので、もし自主防災組織を作る中でこういった情報が欲しいということをお示しいただければ、町としても考えさせていただきます。	総務課長
⑦	今の老人会の人たちは、町を背負ってきた人たちですが、リーダーがいなくて、人数が少ないということから、老人会の運営も難しいという集落も多いようです。災害等があった時にいかにお年寄りを避難させるか、きちんとケアすることが大切であると思います。若い人が入って年老いた人とバランスをとって進めなければ役に立たないと思うが、どのようにお考えか。	町を背負ってきていただいたのは、老人会の皆様というのは、ご指摘のとおりだと思います。自主防災組織の中で老人会としての位置づけも検討する必要があります。今後、老人会の役員さん等とも相談しながら進めたいと思います。	町長

(3) 各種保健事業について

⑧	後期高齢者の医療の仕組みについて説明をお願いします。	国民健康保険は、各自治体が保険者となり行っています。後期高齢者医療は県内の市町村が広域連合で組織を作り医療費の支払いを行っていますが、後期高齢者の医療費は年々伸びている状況です。今年が3回目の保険料の改定の年ではありますが、基金を活用して、設立当初の水準に近づけるようにしています。制度としては国保と同じように医療費の支払いでありますので、医療費の削減に向け長寿健診も無料で受けられますので、ご利用いただきたい。 後期高齢者医療の仕組みは、広域連合では国・県・町からの負担金等で構成されており、医療費を医療機関に支払っています。全体に占める割合は10%程度が保険料として組み込まれたものになっていると思います。	町民生活課長
---	----------------------------	--	--------

⑨	<p>健診率がなかなか伸びないとのことだが、PRをどこで行っているのか。町では医療費が増え困っていることをどのような形でPRをしているのか。</p>	<p>PRは、広報紙やホームページ、ツイッター等でも周知をさせていただいています。また、今年度からは、地区の保健委員さんに協力をいただき、地域の皆さまに特定検診のPRと周知をしていただく活動をお願いしていますので、成果が出ると思っております。</p> <p>また、がん検診については、検診のしおりを全世帯に配布しているほか、子宮がん・乳がん・大腸がんの検診について受診率をあげるため、5歳刻みの方に無料のクーポン券を発行し、受診いただくよう周知に努めています。がん検診は、集団検診や医療機関でも受けられますので、ご自身の意識を高めていただき、受診してもらいたいと思います。</p>	町民生活課長 健康福祉課長
⑩	<p>ロコモティブシンドロームは、寝たきりになる理由の中にメタボリックシンドロームに匹敵するくらいの影響があるとされています。町の健康運動でハッピー体操を行っているが、負担にならないような健康運動や、骨年齢や血管年齢など簡単に調べられる制度を作ってほしい。</p>	<p>お年寄りに対しては、やすらぎの郷などで、健康教室等の講習会を行っています。また、保健師が6月に健康教室を各公民館で行っており、健康に対するPRをさせていただいております。今後も健康教室の充実を図るとともに、ご指摘の制度については、検討させていただきたい。</p>	健康福祉課長

(4) その他

⑪	<p>中山公民館について、改築の建設をお願いしてきたところですが、先日、和室の障子が外れるような状況になっています。災害時には住民が集まるので、改築について検討いただきたい。</p>	<p>公民館については、今年、伊草と小見野の耐震診断を行っており、全地区の耐震診断が終了します。そうした中で、今後、改築も含めて検討させていただきますので、ご理解をお願いします。</p>	町長
⑫	<p>プロロジスの西側の町道に、大型車が10台程度停車しているときがあり、大変危険な状況になっている。道路のパトロールなど対策をお願いしたい。</p>	<p>プロロジスの西側の道路につきましては、現状を確認し、担当課と警察とも連携のうえ、駐車しないよう指導していきます。</p>	町長